

臭化チオトロピウムのハンディーヘラーからレスピーマットに切り換えた症例におけるアンケート調査による評価

渡邊直人、牧野荘平

東京アレルギー・呼吸器疾患研究所

【目的】今回我々は、臭化チオトロピウムのハンディーヘラー(HH)からレスピーマット(RMT)に切り換えた症例において、その印象をアンケート調査により評価したので報告する。

【対象】HHを使用していた患者30名(平均72.6歳、男性:22名、女性:8名)

【方法】アンケート調査によりHHに比較したRMTの印象を伺い評価した。

【結果】

1. 操作は80%が使い易いと答えたが、10%が逆に使い難いで、10%が変わらないであった。
2. 吸入し易いが76%、吸入し難いが17%、変わらないが7%であった。
3. 12名が気になる点を述べ、慣れないが17%、むせ易いが33%に認められた。
4. 労作時呼吸困難感に関しては、8人(27%)が楽になり、21人(70%)が変わらず、1人(3%)が若干苦しくなった。
5. 咳、痰の症状は、随分楽になったが7%、若干軽快したが20%、変わらないが70%で、若干増悪した者が3%認められた。
6. 口渇感に関しては、9人(30%)が若干多く感じており、19人(63%)が変わらず、2人(7%)が若干良くなっていた。
7. 嗄声は、1人(3.3%)が若干良くなり、26人(86.6%)が変わらず、3人(10%)が若干悪くなっていた。
8. 排尿状況は、28人(93%)が変わらずで、2人(7%)が若干悪くなった。
9. 新しい副作用として2人(7%)がむせると答えた。
10. 希望する割合は、RMTが25人(83.4%)でHHが5人(16.6%)であった。

【考察】RMTはHHより操作が簡便で吸入し易い感想が多く好まれたが、反面むせるという意見も認められた。副作用として口渇感や嗄声の出現頻度がHHより若干高かった。